

SEED (シード)

Vol.009
2023.02月

今年度「駒大生社会連携プロジェクト」の活動報告会が2月18日（土）にオンラインで開催いたします。今号では、報告会のご案内のほか3つのプロジェクトのレポートをお届けします。

令和4年度 駒大生社会連携プロジェクト 活動報告会



日時 **2023年2月18日（土）13:00~14:45**

開催方法 Zoomウェビナーによる配信

ウェビナーID：**867 4286 6697**

PW：**komaseed22**

詳細は[こちら](#)



※ 本報告会は、学生・教職員・その他、どなたでも無料で視聴できます。

〔世田谷区部門〕

地域プロジェクトによる市民育ち—用賀と深沢における参加型調査研究（文学部：李妍焱先生）

後期授業・期末テストを終えて春休みに入った1月も、ゼミの活動は活発でした。ふかさわの台所では、1月11日にはインタビューでお世話になった大人の方を招いて調査研究の発表会、27日には第4回大人の語りBARを開きました。今回の語りBARゲストは、集英社で勤務している成見玲子さんです。出版業界や編集のお仕事について話していただいたほか、学生の悩み相談にもものってもらいました。

そして、今月18日の発表会に向けた準備も着々と進んでおります。なお、1年間を通じ私たちが研究してきたことをまとめた論集がもうすぐ完成します！どのような仕上がりになるか今から楽しみです。出来上がったものは大学の図書館、各ゼミの資料室に置きますので、是非読んでくださいね。

〔産官学連携部門〕

産学連携による新商品開発と新たな販路開拓の実践プロジェクト（経済学部：吉田健太郎先生）

私たちの班は地域活性化に繋がる地場産業の発展のために、サガコレクティブ様と顧客との持続的な関係性構築のためのプロジェクトを行っています。先行研究から、顧客との持続的な関係性構築のためには、企業が取り組む社会的課題を発信して共感力を構築し、SNSを活用しつつ遠くの人でも地方に心の拠り所を作ることが鍵だとわかりました。そこで、企業や商品への好感度、企業への共感力が高まる体験型プログラムを準備し、モニター（ゼミ生）に体験してもらい実現性を図るために、1月末に佐賀県に訪問しました。

また、SNSの発信も鍵となるため、そのための素材収集（動画、写真）も行いました。現在は、撮影した動画・写真をSNSに投稿するための編集と、アンケート調査をもとに体験のブラッシュアップを行っています。

今後は、顧客と企業が双方向でコミュニケーションが取れるプラットフォームを作ることと、体験から購買に至るきっかけ作りをする予定です。



〔産官学連携部門〕

難民を知り、共生へ ～クルド人に学ぶ～（法学部：三竹直哉先生）

プロジェクト活動報告会に向けて、着々と準備を進めています。オンラインでのミーティングを中心に、集大成として各自責任感を持って業務に取り組んでいます。活動報告書の作成に取り組んでいる中で、改めて感じたことがあります。それは、私たちが生み出すことができたインパクトは、想像以上に大きな成果となっていたことです。上映会のアンケートに寄せられた幅広い年代の来場者やゼミのOBの方々から、賞賛とともに「難民について興味を持った」というお声を沢山頂きました。一方で反省点も多数見つけました。今回の反省を次に繋げるべく、現在は報告会関係書類の作成に加え、ゼミに関する手引きを作成するなど来年度の展望を模索しています。引き続き、報告会まで気を引き締めて準備をして参ります。